コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事例

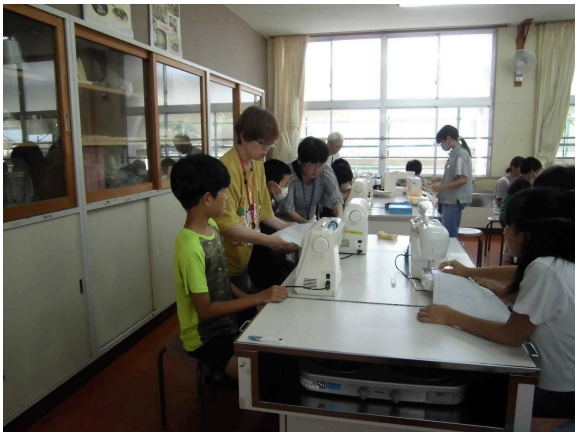
学校で行う地域学校協働活動

１　教育課程・授業の充実・魅力化に関すること

⑴　学習支援活動【地域住民のボランティアによる授業の補助やサポート】

【小松台小】家庭科のミシン学習補助　～６学年家庭科～

- **学校運営協議会で地域と連携した教育の推進を承認**
- 地域のひと・もの・ことを積極的に活かした地域密着学習の一環
- まちづくり推進委員会の事務局が授業補助のボランティアを招集（３名）
- ミシン縫いを行う児童を個別に補助
- 学校は地域事務所やまちづくり推進委員会と連携を密にし、地域との双方向的な教育活動を展開



【広瀬小】伝統文化（地域の踊り）継承活動　～１学年体育科～

- **学校運営協議会で郷土に関する学習の実施の方針を承認**
- 広瀬音頭の踊りの学習
- 運動会では全学年の全校ダンスとして実施する。
- 昭和28年ごろに作成された広瀬音頭は一度継承が止まったが、約20年ぐらい前にまちづくり協議会が中心になって復活。それ以来、広瀬地区の伝統文化の一つとして学校でも踊ってもらうように指導している。

【学園木花台小】伝統文化（地域の踊り）継承活動　～４学年体育科～

- **地域人材や地域資源の活用について学校運営協議会で承認**
- 木花地域の伝統芸能である相撲踊りの講習
- 木花地区相撲踊り保存会が指導
- 木花地区は木花小、学園木花台小が運動会で披露している。

【赤江東中】赤江寺子屋　～地域住民のボランティアによる学習支援～

- **学校運営協議会で校長が学校運営協議会と学校経営の一体化を説明し、地域人材・教育的資源の積極的活用を承認**
- 全学年希望者対象で赤江地区青少年育成協議会が主催
- 講師は、はげまし隊（地域ボランティア）や宮崎南高校生ボランティア
- 毎週木曜日１６：００～１７：３０に実施
- 自学自習が基本で、講師が質問等に応じる形態

【佐土原中】地域防災の学習　～３学年総合的な学習の時間～

・学校運営協議会で佐土原中学校区コミュニティ・スクールグランドデザインを承認

・教育支援部会、安全安心部会、地域貢献部会に分かれて協議、活動

・佐土原中学校では、総合的な学習の時間に防災学習を実施。

・学校運営協議会の安全安心部会を中心に、まち推のメンバーが講師となって授業協力。生徒が地域の自治会長に防災についての聞き取りも実施

・地域の防災訓練には生徒がボランティアで参加協力。

・文化発表会では学校運営協議会のメンバーも招待し、学習成果を発表。

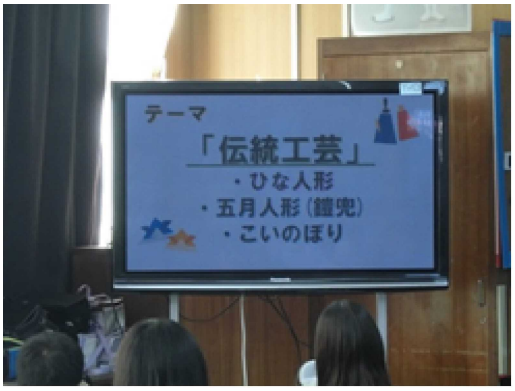
・学校（生徒の育ち）を核とした地域づくりの一助になりつつある。

【大淀中】郷土の探究活動　～総合的な学習の時間～

- **学校運営協議会で校長の方針（地域をフィールドとした探究と連携によるキャリア教育推進と体制の構築）を承認**
- 大淀地区（地域）をフィールドに地域人材とともに子どもたちが体験的に学ぶ機会を設けることで「はばたく想い」（将来の夢や希望）とその実現の基盤となる力を育む。
- １学年は「大淀を知る」２学年は「大淀の人を知る」３学年「大淀のまちづくりへの参画」とし、３年間をかけて系統的に学びを深める。
- 写真は１学年「大淀を知る」の地域探究活動の授業で、次時の現地調査活動の事前計画を立てている様子

【宮崎港小】地域と連携した伝統文化の学習　～５学年総合的な学習の時間～

- **学校運営協議会でその機能を最大限に生かし、地域人材を積極的かつ効果的に活用することを説明し、承認**
- ５学年では「伝統を引き継ぐ」をテーマに地域人材と連携したキャリア教育を実施
- 地域の人材を講師に招き、地域の神楽や宮崎を代表する農作物栽培、雛人形や五月人形などの伝統文化に関わる人の想いを聞き、その後の探究活動を展開
- 最終的には児童が調べてきたことや伝統を引き継ぐことに対する想いを発表する。



しんびゅう

2025年10月第44号
新別府町公民館だより

9月24日（水）神楽保存会の出前授業（まえ）～港小

港小学校の５年生に「神楽・一業稲荷神社の神楽」について話をしました。ひょんなことから神楽の話をしてくれる人はいないか探していると金丸会長に小学校の先生から連絡がありました。少しでも神楽の継承につなげるために、苦手な事もやらなくてはと引き受けました。学校の先生以外で授業をすることを以前から出前授業として学校では取り入れています。神楽などインターネットで調べているグループがいるので実際に地域での神楽について聞きたいということでした。児童の皆さんは真剣に参加してくれました。ほんの少しだけ鬼神棒で「地ならし」をしてみたり、きちんとした質問をたくさんしてくれました。日頃の先生方の指導も行き届いていました。ただ時間が足りなくて申し訳ありませんでした。神楽をやってみたいという児童が１名手を挙げてくれてうれしかったです。身近な所で神楽があることを知らない先生や児童の皆さん、この授業はどうでしたか？

【大淀小】認知症サポーター養成講座　～５学年総合的な学習の時間～

- **学校風土改革の手立てとして、外部機関の積極的な活用（オンラインを含む外部講師及び企業等の積極的活用・交流）を図ることを学校運営協議会で説明・承認**
- ５学年の総合的な学習の時間で、「福祉」をテーマに大淀地区の民生委員・児童委員や包括支援センターから講師を招き、認知症サポータ養成講座を実施
- 認知症の症状や患者の気持ち、宮崎市内の患者数の実態等について理解を深め、ロールプレイを通して実際の対応の仕方を具体的に学ぶ。
- 学校の教育目標にある「自ら考え正しく判断して行動する児童の育成」を見据えた学習の一環である。